

産婦人科臨床研修プログラム

I 研修医

産婦人科に興味があり1ヶ月間の選択ローテーションを選ぶ方とCコースで産婦人科を選んだ方に分かれるが、最低限の到達目標は共通である。

1. 到達目標

- ①正常分娩の取り扱いの基本
- ②経膈超音波検査の基本手技
- ③妊娠診断の手順の理解
- ④婦人骨盤の解剖学的理解

後者では、さらに①正常分娩が取り扱えること

②③妊娠を主訴として来院した患者の診察ができること

④基本的な産婦人科手術の第1助手を務められること

を目指していただきたい。

具体的目標（SBOs） 初期研修目標の産婦人科関連項目を参照

- ①妊娠分娩（正常妊娠、流産、早産、正常分娩、産科出血、乳腺炎、産褥）
上記を入院患者で受け持ち入院病歴要約として提出すること。
- ②女性生殖器およびその関連疾患（無月経を含む月経異常、不正性器出血、更年期障害、外陰・膈・骨盤内感染症、骨盤内腫瘍、）
上記を経験すること。

2. 研修内容

上記の目標を達成するため出来るだけ分娩や手術に助手（手洗いして）として参加する。

3. 評価

研修終了時に於いて評価を行う。評価は知識・技能・態度などについて行い、評価表は研修管理委員会に提出する。

4. 研修終了後について

当院の産婦人科には、3年次以降の研修カリキュラムはなく、レジデントとしての受け入れはできませんが、Cコースで産婦人科を選択された場合、研修の実績により3年次以降東京大学医学部産婦人科学教室での研修が可能となる場合があります。

詳細は、産婦人科 室之園部長にお尋ね下さい。